



Rotary 古河東 Weekly Bulletin

2019.4.2
第 1892 回例会

4月の強調月間『母子の健康月間』

会長 古谷弘之 幹事 小森谷久美

本日の予定

- 月初めのお祝い
- 会員卓話「イニシエーションスピーチ」井上学会員
- ♪ ロータリーソング ♪ 君が代、奉仕の理想、バースディソング

会長の時間

2018-19 年度会長 古谷弘之



先日、古河東 RC 平成最後のゴルフコンペが、絶好の天気の中、盛大に行われ、福富次期ガバナー補佐が、見事なゴルフを展開し、優勝いたしました。

本日の会長の時間は、ミスターロータリー杉岡さんの卓話がありますので、その前に、先日太田ガバナー補佐から戴いたある雑誌の記事を紹介致します。

「いい会社づくり」松岡 浩

経営者は誰もが「いい会社」をつくりたいと願っています。「いい会社」づくりは全社員が嬉々として出社し、イキイキと働くことで可能になります。

仕事には「やる仕事」と「やらされる仕事」があります。「やる仕事」は、自らが積極的に仕事を行うこと、「やらされる仕事」は、上司の命令によって、仕方なしに仕事を行うことです。「やる仕事」の人は与えられた仕事に対して、知恵を出し、よりよい結果を出して成長します。「やらされる仕事」の人は、指示されたことのみしか仕事をせず、成長できません。

弊社では 28 年間も「改善提案制度」を続けています。仕事に対して「これでよいのか」と常に疑問を持ちながら考えて、仕事に挑戦していますので、「楽」に、しかも「速く」製品ができます。そのおかげで会社も社員も成長を続けています。その成長は社内だけではなく、地域や家庭でも感じられています。全社員が「やる仕事」をする前向きの社風になったのは、上に立つものが早朝に出勤して奉仕活動や積極的な行動でお手本を示しているからです。

「感化力は自己犠牲に比例する」という言葉があります。「感化」とは、人に影響を与えて、心や行いを変えさせることで、「自己犠牲」とは、自分の時間を使って他人のために尽くすことです。上に立つものが言葉ではなく、後姿の実践で社員を喜ばせ、社員に「やる仕事」をもたらすことで「いい会社」ができるのです。

「人生二度なし」を胸に刻み、情熱をもって行動し、お互いに「いい会社」を目指し励んでいきましょう。・・・後略

司会進行 石川久 SAA

点鐘 古谷弘之 会長

福田優子 ソングリーダー 井上学 親睦活動委員



四つのテスト、古河東ロータリークラブソング

オーディオ担当

【お客様及びご来訪ロータリアンの紹介】

古河 RC 熊木善一様



元米山奨学生ダリナさん



ダリナさん挨拶

久しぶりですね。半年ぶりに古河来て、懐かしく感じます。皆さんと会えるから嬉しいです。

私は先週ロシアから戻ってきて、来週からラボが始まります。入学式は、4月12日です。

クラブゼミは、火曜日なので今日来ました。後で皆さんとコミュニケーションしたいです。

よろしくお願いいたします。

幹事報告

幹事 小森谷久美

◆ 報告事項

[1] 回覧

- ・水戸 RC、水戸西 RC 週報
- ・米山梅吉記念館より館報と、春季例祭のお知らせ

以上



委員会報告

青少年奉仕委員会 福田優子 委員長

本日の週報にもあります通り、3月19日(火)古河地区ローターアクト例会に参加してまいりました。

古河地区ローターアクト能力開発委員の鈴木稜さんの卓話「フィギュアスケートのあれこれ」詳しく楽しいお話に、有意義な時間を過ごせました。その後世界選手権のテレビ番組の放映があり、お話を思い浮かべながら、楽しく見ることができました。ありがとうございました。



■ 会長エレクト 江口紀久江 会長エレクト



[会長エレクト研修セミナー（PETS）（Presidents-Elect Training Seminar）参加報告]

3月23日（土）～24日（日）ひたちなか市 ホテルクリスタルパレスにて開催され、山崎パストガバナー、福富次年度ガバナー補佐と共に出席して参りました。

マーク・ダニエル・マローニー次期 RI 会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」とされました。ロータリアンの人々との繋がり・地域社会との繋がりを、手をつなぎ、奉仕を通じて築いていこうと示されました。

そしてこれを受け、中村次年度ガバナーは地区スローガンを「人、学びて更なる奉仕」とされました。人との繋がり、人と、人に、人を、人から、人より…と、多くの方々と接して、聞き、学び、深い知識、認識を基として質を高め、真実の奉仕を続けようということでもあります。

他、1日目は各部門の地区役員による討論セッションが行われ、2日目は東京飛火野 RC 水野パストガバナーによる講演をいただきました。その後、分區別にガバナー補佐のもとディスカッションし、全体に向け発表会となりました。

会長エレクトとしての準備を整える有意義な2日間となりましたことをご報告申し上げます。

■ 地区諮問委員会 山崎清司 代表議員



私は来月4月13日から6日間、3年に一度シカゴで開催されます規定審議会に2820地区の代表として出席いたします。

全世界の地区から1名ずつ、約540名の代表が参加して開催されます。

規定審議会とは「手続き要覧」にある国際ロータリーの定款・細則、標準ロータリークラブの定款にある組織規定の変更を審議する委員会です。

全世界のクラブ等から事前に提案された議案についてその可否やまたは修正を審議します。

この審議会は8か国語で通訳されイヤホンで聞きながら進めます。

進め方はこのようになっています。

例えば、アメリカのAクラブから「ローターアクトの年齢を35歳まで引き上げてほしい」という提案がでたとします。

Aクラブの地区代表議員はその理由を述べて参加者へ賛成を促します。

しかし赤紙を挙げたBクラブはこれについて反対意見を述べます。

すると今度は青紙を掲げたCクラブの代表が賛成意見を述べます。

このように賛成、反対と議論を衝突させます。

もちろん一人の発言時間はきめられています。頃を見て議長が「では投票を」と呼びかけ手元にある電子機器で投票します。

するとたちどころに賛成・反対が表示され決定されます。

決定されると「手続き要覧」が届く届かないにかかわらず7月からその効力は発生します。

私は3年前の2016年にも地区代表としてシカゴで行われました規定審議会に出席しました。

そのときロータリーの歴史を変えるような大きな採択がありました。

それは毎週例会が「月2回例会でもいい」という採択が賛成多数で採択されたことです。

女性会員の入会も1989年、今から30年前の規定審議会で採択されたものです。

今年の規定審議会には116件が提案されています。そのうち日本からは25件です。

その中には月2回例会をよしとしないクラブから代替案が提案されています。

ロータリーの将来の在り方、多様性・柔軟性を左右する大切な審議会です。

真摯に向き合い、中身を吟味し、地区代表として恥かしくない投票をしてまいります。

以上規定審議会についての報告を終了いたします。ありがとうございました。

福富好一ガバナー補佐エレクト

山崎パストガバナー、江口紀久江エレクト、と共にペッツに参加してまいりました。

私は、1日目に参加いたしました。

朝 10 時 30 分から夕方 5 時 30 分までぎっしりとロータリーについての勉強をさせて頂きました。

次年度のガバナー公式訪問日程、10月22日（火）、IM 関係者の会議、4月2日（火）18時30分から喜楽飯店に於いて、今年度5月19日（日）古河英語カルタ大会以上予定いたしております。よろしくお願い致します。



将棋愛好会開催報告 三田浩市 会長

[将棋愛好会開催報告]

3月20日(水)将棋大会を開催致しました。

被表彰者は、優勝 三田浩市会員、準優勝 板橋孝司会員、第3位 久野 茂会員
入賞 坂田信夫会員、森 敏夫会員でした。

アマチュアの将棋は、一手のミスで勝敗が決まってしまう。逆転、逆転で楽しい大会でありました。



【財団寄付金 確定委員会が開催されました。】

【武澤郁夫会員からお土産のお菓子を頂きました。】



出席委員会 福江真隆 委員長

第 1891 回例会 (3/26)		第 1889 回例会 (3/8) 前々回	
名誉会員を除く会員数	53 名	名誉会員を除く会員数	53 名
出席計算に用いた会員数	51 名	出席計算に用いた会員数	52 名
出席又は Make Up 会員数	41 名	出席又は Make Up 会員数	52 名
出席率	80.39%	出席率	100.00%





杉岡榮治パスト会長

【① 決議 23-34 について】

決議 23-34 は RI 第 14 回セントルイス国際大会で制定された決議案です。
(第 1 回は 1910 年に行われたシカゴ国際大会)

現在の手続き要覧には社会奉仕に関する **1923 年の声明 (1923 Statement on community service)** となっていますが、四大奉仕部門が設定されたのが **1927 年**なので現在の社会奉仕の指針を表したものでなく、**ロータリー活動全般に関する指針になるものです。**

当時のタイトルは「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」となっています

[決議 23-34 制定の経緯]

ロータリーの哲学である奉仕の心を学び奉仕の心をロータリアン個人がそれぞれの家庭生活、職業生活及び社会生活において実践に移すことがロータリー運動の本質だとする理論派と団体で奉仕活動を実践することこそがロータリーの使命だとする実践派との論争です。

***ideal of service** 「奉仕の理想・理念」とは
具体的には「他人への思いやり」「助け合いの心」「他人の身になる心」ということだそうです

別の言い方をすれば、個人奉仕派 (I serve) と団体奉仕派 (We serve) との対立です。

実践派の中心となったのが身体障害児対策に熱心に取り組み全国的な規模の奉仕活動を行っていたエドガー・アレンです。「奉仕活動の実践」に重きを置く実践派は身体障害者や貧困などの社会問題に取り組むべきと主張します。

理念派との対立が深まりロータリーは分裂の危機に瀕します。

国際ロータリー理事会は両派の考え方を調和させるとともに従来からある奉仕の考え方や行動を整理・調和させるための努力を繰り返します。最終的には 1923 年セントルイスの国際大会でテネシー州ナッシュビルロータリークラブのウイル R メニアを中心とする委員会によって起草・提案された決議 23-34 の採択によって、論争の終止符が打たれ両派の対立は解消しました。

【② 四つのテストについて】

「**四つのテスト**」は 1932 年にシカゴロータリークラブのハーバート J・テラー (1893 年ミシガン州生まれ) が提唱したものです。

1939-40 年度シカゴロータリークラブの会長を 46 歳で務め、ロータリー創立 50 周年の 1954-55 年度の RI 会長に 61 歳で就任しています。会長を務めたロータリー創立 50 周年の時に「四つのテスト」の著作権を国際ロータリーに寄贈いたしました。商才に恵まれ、ジュエル・テイー社の次期社長候補だった 1932 年 (39 歳)、倒産寸前のクラブ・アルミニウム社の再建を依頼され、従業員数 250 名を抱え、40 万ドルを上回る負債のある倒産寸前の医療器具メーカーの社長に就任しました。

彼は、再建にあたり、倫理的、道徳的な経営を行えば必ず再建できるだろうと考えました。そこで従業員が、正しい考え方をもち正しい言動を行えるような指標が必要だと考え、最初にできたものは、7項目の標語でしたが、もっと簡単なものが良いと考え、4つの項目に絞り現在の四つのテストになりました。

上から下まで全従業員がこのテストに沿って考えたり、言ったり、行動したりするうちに、社会的な信用が高まり5年後には、借金を完済し、15年後には株主に多額の配当を出せる優良企業になりました。

四つのテストの実践事例として、出入りの印刷業者が500ドルも安く見積り、納品後そのミスに気づき、担当者に事情を話したところ気持ちよく、500ドルを上乗せして支払ったそうです。

今までの広告には、「世界最高の・・・」「最も良い・・・」という表現を使用していたものを、本当に世界一なのか証明するものはないし、そうでないかも知れないという理由で、それを取りやめ、製品についての事実だけを述べることにしました。又、ある安売り業者（ディスカウント業者）から大量の注文があり、幹部もろとも大喜びしていましたが、安売りをされると地道に商売している他の小売店に迷惑が掛かる不公平さと、取引業者みんなのためになるかどうかが問題となり、結局、その取引は行わないことにしました。

四つのテストが徐々に、従業員の間浸透するに従い、新しい、潤いのある社風となり、取引先、顧客、従業員の同社に対する信頼と好意が生まれ、倒産寸前の会社が優良企業に生まれ変わりました。

基本的には、これはクラブ・アルミニウム社の再建のために考えられたものですが、友好的な人間関係を構築するものなので、職業生活だけでなく、個人生活、社会生活のすべてに活用できる判断基準だと思います。

この和訳は1954年に、日本中のロータリアンから一般公募を行い、70数件の応募の中から、東京ロータリークラブの本田親男氏のものが採用されて今に至っています。

この指針を忠実に実行する困難さは、四項目が別々にあるのではなく、4項目ともクリアーすることを要求されていることです。今日は、3項目クリアーしたので、75点と言う訳にはいきません。完璧な実践は非常にハードルが高い気がします。行動指針として、クリアーできるよう努力をすることによって意味があると思います。

【③ 国際ロータリーの標語 Motto of rotary international】

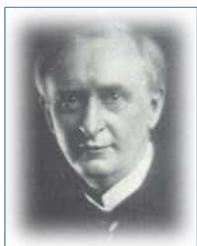
【Service above self（超我の奉仕）人道的奉仕活動の理念】

1910年から1942年までの32年間事務総長を務めたチェスレー・ペリーの解釈は「利己の心を超越して他人のことを思いやり、他人のために尽すことである」としています。

ちなみに米山梅吉翁の和訳は「奉仕第一、自己第二」でした。

He profits most who serves best（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）

【職業奉仕の理念】



提唱者/アーサー・フレデリック・シェルドン

1902年にシカゴにシェルドン・ビジネス・スクールを設立して、経営学、特に販売学を教えていました。1908年にシカゴ・ロータリークラブに入会し、ビジネススクールで教えていた「He profits most who serves best 最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」という理念をロータリークラブに持ち込み、その後ロータリーの公式標

語として現在に至っています

⑨「service」の解釈を奉仕でなく貢献と理解すると解りやすいように思います

初期のロータリークラブの物質的相互扶助による会員の事業の発展から、継続的に利益をもたらす顧客を確保することで事業を発展させるシェルドンの経営学に基づいた事業運営に転換することによって会員事業所の継続的な発展に寄与してきました。

国際大会でのスピーチ或いはロータリアン誌への投稿等で経営学者として、経営のあり方のたくさんの方のメッセージを発信してきました。

[繁栄のために必要なサービス]

- ① 適正な価格 ② 経営者、従業員の接客態度 ③ 十分な品ぞろえ ④ 公正な広告 ⑤ 商品知識
- ⑥ アフターサービス

以上のことは、現在では当たり前のようなことですが、当時の職業倫理の欠如した状況では革新的なことだったようです。

[利益の適正な再分配について]

私たちがロータリアンの身分を保っているのも、ロータリーの会合に出席できるのも、ひとえに自分の事業がうまくいっているからです。

これは事業主の力量によるところが大ですが、会社で働いてくれている従業員、納品をしてくれる取引業者、下請け業者、顧客、同業者がいるおかげであるということを忘れてはなりません。事業主を取り巻く全ての人たち（ステークホルダー/利害関係者）のおかげで事業が成り立っていることを考えるならば、得た利益を事業主が独り占めするのではなく事業に関係する人たちと適正にシェアしながら、事業を進めていけば、必ずその事業は発展していくはずです。

[雇用主の従業員に対する責務]

- 1. 適正な報酬を支払うこと
- 2. 安全、福利厚生、社会保障、快適な生活を保障すること
- 3. 従業員に教育の機会を与えること

顧客満足と従業員満足について100年以上も前にその必要性を説いていることにシェルドンの先見の明を感じます。

[原因結果論]

小さな炎には小さな熱、大きな炎には大きな熱があります。ささやかな奉仕はささやかな報酬の価値があり、大きな奉仕は大きな報酬の価値があります。少ない報酬を嘆くのではなく、大きく奉仕をして大きな報酬を得てください。事業の失敗は、結果である利益を先に望むことにあります。先に原因があり、後に結果が付いてくるのです。

各会員の事業経営の参考になることも多いように思います。

何かの参考にしていただければ幸いです。

杉岡榮治



お名前	メッセージ
古河 RC 熊木善一様	古河ロータリークラブの熊木善一です。 本日は、宜しくお願いいいたします。
古谷弘之会長 小森谷久美幹事	古河 RC の熊木善一様、元米山奨学生ダリナさん、ようこそいらっしやいました。 杉岡パスト会長、本日の卓話「ロータリーの基本について」しっかり学ばせていただきます。 どうぞよろしくお願いい致します。
山崎清司 PDG	杉岡榮治元会長「ロータリーの基本について」卓話よろしくお願いい致します。
海老沼堯	杉岡パスト会長、久々の卓話お願いい致します。
大高滋	「ロータリーの基本について」杉岡榮治パスト会長、待ってました！ とくとご指導お願いいします。
岡村裕太	お世話になります。休みが続いてしまって、申し訳ありませんでした。 杉岡様、卓話よろしくお願いい致します。
小倉郁雄	杉岡パスト会長、卓話よろしくお願いいします。 先週の日曜日、ゴルフ同好会の皆様、好天に恵まれ楽しいゴルフ&懇親会、ありがとうございました。
久野茂	熊木さん、ようこそ「メイク」にお出で下さいました。 お父様には、「米山記念奨学会」で、大変お世話になりました。感謝しております。 杉岡さん、久しぶりの卓話、楽しみです。若手会員への「ロータリーの基本」よろしくお願いいします。 ロータリーでのゴルフ、初めてのラッキー7、ありがとうございました。
齊藤忠	本日急用で早退させていただきます。杉岡様本当にすみません。よろしくお願いい致します。
杉岡榮治	先日のゴルフ同好会のコンペで、スコアとは別に、ただただラッキーに恵まれ、過分な表彰品をいただきました。ありがとうございました。 本日は、卓話をさせていただきます。よろしくお願いいします。
鈴木操	杉岡パスト会長、本日は、宜しくご指導下さいませ。 そして、先週は、お弁当を頂いて帰りました。有難うございました。
須田純一	「ロータリーの基本」学ばさせていただきます。
田口精二	杉岡榮治パスト会長、「ロータリーの基本について」の卓話、すごく楽しみにしていました。 勉強させていただきます。
福江眞隆	先日のコンペでは、久々の大たたき、15名中13位でした。 次は頑張ります！！でも、ゴルフは楽しいですね。杉岡様、卓話よろしくお願いいします。
福富好一	杉岡さん、ロータリーのお話楽しみです。 先日、ゴルフ同好会では、何年かぶりで、優勝できました。天気もメンバーも最高でした。

星野龍肇 杉岡様、本日は、勉強させていただきます。

池田三郎・石川久・植木静子・大橋みち子 杉岡榮治パスト会長、「ロータリーの基本について」の卓話、楽しみにしております。
 小林好子・小山幸子・坂田信夫・武澤郁夫 よろしくお祈りします。
 白戸里美・白戸輝子・福田優子・松井実
 三田圭子・三田浩市・森敏夫

人数	合計	累計	目標額	達成率
32名	¥73,000	¥2,131,500	¥2,200,000	96.89%

今後の予定

例会日程	例会会場	内容
第1893回例会 4月9日(火)	古河商工会議所3F	クラブ討論会 会員増強、委員会活動についてのグループ討論会 【お弁当担当：お食事処 静】
第1894回例会 4月16日(火)	古河商工会議所3F	お客様卓話 古河市観光事業の現況 古河市観光協会会長 野村久男様 【お弁当担当：ホテル 山水】
第1895回例会 4月23日(火) ↓ 4月20日(土) 21日(日)	4月20日(土) 水戸プラザホテル 4月21日(日) 茨城県民文化センター(大ホール) 本会議(登録8:00/点鐘9:00)	国際ロータリー第2820地区 地区大会
第1896回例会 4月30日(火)		休会(家族サービスデーのため)
地区行事他	高橋賢吾地区ガバナー スローガン「ロータリーの心と力を地域社会へ」	
4月16日(火)	地区大会記念ゴルフ大会	大洗ゴルフ倶楽部
4月20、21日(土、日)	地区大会	水戸プラザホテル・茨城県民文化センター
6月1～5日(土～水)	国際大会	ハンブルグ(ドイツ)

◆例会を欠席する時は前日までに幹事又はSAAまでご連絡ください。

幹事：小森谷久美 e-mail kumikomo@trio.plala.or.jp 0280-48-1425/FAX 0280-48-5588

SAA：石川久 e-mail first-9@kiu.biglobe.ne.jp 0280-22-5523/FAX 0280-22-6606

◆原稿の送信先は e-mail m5.matsui@nifty.com 又は FAX 0280-22-4933(松井)までお願いします。

創立：1982年(昭和57年7月6日) URL：<http://www.kogaeast.jp> 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時：火曜日(12:30～13:30) 例会場：古河商工会議所3F(古河市鴻巣1189-4) 電話 0280-48-6000 FAX 0280-48-6006

文責：古河東ロータリークラブ会報IT委員会 [松井・齊藤(愛)・柿沼]